

労働図書館新着情報

今月の10冊

<p>①山形辰史編『貧困削減戦略再考』岩波書店(xvii+261頁,A5判) 本書は、開発途上国の事例分析に基づき、貧困削減を持続的に推進する戦略と制度を探っている。雇用機会創出を通じた生計の向上が中心の対策となるが、マイクロファイナンスやソーシャルファンド等の諸制度の意義も検討、貧困削減には公共サービスへの依存ではなく、主体的な取組が重要であることを指摘している。</p>	<p>⑥神林龍編著『解雇規制の法と経済』日本評論社(viii+358頁,A5判) 解雇は、解雇者には計り知れない影響を及ぼすが、労働力の再配置には経済合理的な側面もあるため、解雇ルールの設定は、労使の利害が衝突する政策課題となる。本書は、裁判における解雇事件についてケーススタディ、判例解釈、統計的分析を併用して研究している。紛争両当事者が納得するルールは可能なのであろうか。</p>
<p>②小池和男著『海外日本企業の人材形成』東洋経済新報社(xii+294頁,A5判) 古希をとうに迎えた事例研究の第一人者が、日系自動車企業海外事務所の現地技術者の人材形成を聞きとりによってまとめている。今回の対象者は生産ラインの設計技術者であるが、知的探究心の旺盛さには驚かされる。小池ワールドに耽溺できる機会が少なくなりつつあるが、聞きとりの作法を途絶えさせてはいけない。</p>	<p>⑦櫻庭涼子著『年齢差別禁止の法理』信山社出版(xi+316頁,A5判) 雇用における年齢差別禁止が国際的な広がりを見せている。日本でも、雇用情勢の悪化の下で募集・採用における年齢差別禁止が強化規定化されている。不合理な差別の解消は当然であるが、性・人種差別と異なり、誰もが歳をとるという平等性を持つ年齢の差別禁止法理の精緻化作業が、本書によって開始されたといえる。</p>
<p>③大沢真知子著『ワークライフシナジー』岩波書店(253頁,B6判) 仕事も生活も充実させる生き方であるワークライフバランス(WLB)は、シナジー効果にその根拠をおいている。両者は人間生活の一部であり、宇宙の中の星座のように相互作用が働くからである。本書は、前著「WLB社会へ」の姉妹編として、著者自身の仕事と生活を検証しつつ、WLBにかけた思いを綴っている。</p>	<p>⑧岩間暁子著『女性の就業と家族のゆくえ』東京大学出版会(iv+231頁,A5判) 人口減少の下で、女性労働力に注目が集まっている。本書は、女性就業の重要性が家庭の内外で高まっている現状の中で、職業・学歴等の社会階層と社会的・文化的性差であるジェンダーに着目し、どのような女性が就業しているか、また女性の就業によって家族がどのように変化しているかを計量経済学的に検討している。</p>
<p>④品田知美著『家事と家族の日常生活』学文社(vi+184頁,A5判) 家電製品や家事代行サービスが増えて、日本の主婦は暇になったのだろうか。家事水準の上昇もあってそうでもないらしい。家事時間が多い人には理由があり、家事時間が少ない人は仕事をしているという。自身を持ち充実した家族生活を送る著者の継続的研究により、家族に関する発見が蓄積されることを期待したい。</p>	<p>⑨安河内恵子編著『既婚女性の就業とネットワーク』ミネルヴァ書房(ix+299頁,A5判) 既婚女性就業が増加しているが、性別役割分業が残存する日本では、ワーク・ファミリー・コンフリクトが増大している恐れがある。本書は、既婚女性の就業とその継続にとって家族等のサポートがどのような効果を持っているか、福岡市と徳島市の比較調査によって、都市度という観点から明らかにしようとしている。</p>
<p>⑤菅野和夫他編『友愛と法』信山社出版(vii+513頁,A5判) 本書は、山口浩一郎先生のお希いして寄稿された論文を編集したものである。タイトルの「友愛と法」は自由、平等に関する研究は多いが、近代社会の原理である友愛に関する研究がほとんど見られないという、山口先生の問題意識に端を発しているという。本書が友愛編を含む三部構成になっているのはそのためである。</p>	<p>⑩阿部彩他著『生活保護の経済分析』東京大学出版会(vii+272頁,A5判) ワーキングプア、最低賃金との関連で生活保護制度のあり方が問われている。本書は公的扶助(生活保護)に関わる、主に欧米で蓄積された経済理論・実証分析を日本の生活保護の文脈で紹介するとともに、年金・医療等の他の社会保障制度や行政制度との関わり合いから生活保護制度の問題点を経済学的に示している。</p>

主な受け入れ図書

(2008年5月に労働図書館が収蔵した主な図書)

①色川大吉著「若者が主役だったころ」岩波書店(xi+340頁,B6判)	⑩佐藤忍著「グローバル化で変わる国際労働市場」明石書店(355頁,A5判)
⑫朝日新聞大阪本社編集局「地方は」取材班著「今、地方で何が起きているのか」公人の友社(262頁,B6判)	⑫総合研究開発機構編著「就職氷河期世代のきわどき」総合研究開発機構(123頁,A4判)
⑬政策形成研究班著「政策形成の新展開」関西大学法学研究所(188頁,A5判)	⑬城繁幸著「3年で辞めた若者はどこへ行ったのか」筑摩書房(237頁,新書判)
⑭長谷川彰一著「法令解釈の基礎」ぎょうせい(xv+485頁,A5判)	⑭佐藤博樹他編「バランスのとれた働き方」イデアル研究所(239頁,B6判)
⑮公証制度研究班著「現代公証制度の理論と実務」関西大学法学研究所(ii+202頁,A5判)	⑮倉地克直他編「働くこととジェンダー」世界思想社(v+312頁,B6判)
⑯ハインツ・D.クルツ著「シュンペーターの未来」日本経済評論社(ix+165頁,B6判)	⑯高崎真一著「コメンタールパートタイム労働法」労働調査会(467頁,A5判)
⑰横溝清夫著「人間の顔をした経済の復活」産経新聞出版(242頁,B6判)	⑰萩野敦司他著「中国労働契約法の実務」中央経済社(3+10+228頁,A5判)
⑱吉田栄一編「アフリカ開発援助の新課題」日本貿易振興機構アジア経済研究所(iv+195頁,A5判)	⑱石寄信憲編著「立法プロセスから読み解く労働契約法」中央経済社(3+3+221頁,A5判)
⑲総合研究開発機構編「地方再生へのシナリオ」総合研究開発機構(113頁,A4判)	⑲入江公康著「眠られぬ労働者たち」青土社(228頁,B6判)
⑳神奈川大学人文学研究所編「在日外国人と日本社会のグローバル化」御茶の水書房(viii+246+ii頁,A5判)	⑳金子幸子他編「日本女性史大辞典」吉川弘文館(8+795+137+24頁,B5判)
㉑関西経営者協会編「ホワイトカラーに求められる技能とその継承のあり方」関西経営者協会(41頁,A4判)	㉑レイ・ストレイチー著「イギリス女性運動史」みすず書房(xii+374+xvi頁,A5判)
㉒伊藤健市著「資源ベースのヒューマン・リソース・マネジメント」中央経済社(viii+7+241頁,A5判)	㉒中西新太郎著「「生きにくさ」の根はどこにあるのか」前夜(139頁,B6判)
㉓関西経営者協会編「企業価値創造に向けた人事労務担当者の育成」関西経営者協会(46頁,A4判)	㉓安立清史著「福祉NPOの社会学」東京大学出版会(ix+260頁,A5判)
㉔山住勝広他編「ネットワーク」新曜社(iv+315+17頁,B6判)	㉔堀田聡子著「訪問介護員の定着・能力開発と雇用管理」東京大学社会科学研究所(273頁,B5判)
㉕岩間俊彦著「イギリス・ミドルクラスの世界」ミネルヴァ書房(x+366頁,A5判)	㉕ジー・クリット・ルヒテンベルク編「移民・教育・社会変動」明石書店(415頁,B6判)
㉖雷理恵子著「農家女性の社会学」コモンズ(254頁,A5判)	㉖米澤純他編「大学教員のキャリア・ライフスタイルと都市・地域」広島大学高等教育研究開発センター(ii+108頁,B5判)
㉗門倉貴史著「ワーキングプアは自己責任か」大和書房(238頁,B6判)	㉗竹村之宏著「日本人の誇りと働き方」社会経済生産性本部生産性労働情報センター(186頁,A5判)
㉘玄田有史他編「希望学国際コンファレンス」希望と社会の新たな地平へ」全記録」東京大学社会科学研究所(134頁,B5判)	㉘鈴木文織著「仕事うつ」PHP研究所(135頁,A5判)
㉙貝塚啓明他編著「年金を考える」中央経済社(4+3+245頁,A5判)	㉙小磯修二著「地域自立の産業政策」イマジン出版(119頁,A5判)
㉚橋本祐子著「リバタリアニズムと最小福祉国家」勁草書房(xix+254+xviii頁,B6判)	㉚関満博著「地域の片隅から」新評論(272+2頁,B6判)

労働図書館(資料センター)

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書103,000冊、洋書26,000冊、和洋の製本雑誌20,000冊を所蔵している労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。その他にも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(460種)、洋雑誌(170種)、紀要(560種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、日本経団連など経営者団体の刊行物や民間研究団体刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションは、戦前・戦後を通して労働組合の歴史的に貴重な原資料を収集、保管しています。

開館時間：9:30～17:00

休館日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、その他

電話番号：03(5991)5032 / FAX：03(5991)5659

利用資格：どなたでも自由に利用できます

貸出：和書・洋書とも2週間、5冊までです

※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください

レファレンスサービス：図書資料の所在調査などのサービスを行っています